

平成25年度新規採択に係る事前評価実施地区一覧表

1 直轄治山事業

国有林直轄治山事業

整理 番号	都道 府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 B (千円)	総費用 C (千円)	分析結果 B/C	チェックリスト																			
									I 必須事項					II 優先配慮事項														
									1	2	3	4	5	1 有効性			2 効率 性	3事業の実施環境等										
														(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)	(4)					(5)		
1	長野	中信森林管理署	地すべり防止	坂巻	さかまき	2,816,390	1,610,394	1.75	○	○	○	○	○	A	A	B	A	A	A	-	A	B	A	B	B	A	B	B
2	長野	伊那谷総合治山事業所	地すべり防止	地蔵峠	じぞうとうげ	1,690,706	1,297,375	1.30	○	○	○	○	○	A	B	B	A	B	A	-	A	A	A	B	A	A	B	B

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (地すべり防止)	事業実施計画期間	平成25年～平成34年度(10年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	さかまき 坂巻 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 中信森林管理署
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県松本市西部の北アルプス南に位置し、周辺地質は非常に複雑な状況を呈しており、珪質泥岩・チャート・石炭岩・メランジ等が分布し、これらを断層が区切っている。また、断層に沿って凝灰角礫岩が分布し非常に脆弱である。</p> <p>当地区上流には、中部山岳国立公園特別保護地区・特別名勝及び特別天然記念物に指定されている日本を代表する山岳観光地の上高地、下流には坂巻温泉があり、保健休養的要素が強く年間150万人が訪れ、事業箇所末端を通過する国道158号線は極めて重要な主要観光道路である。</p> <p>平成23年6月には事業地对岸からの土石流発生により、国道158号線が寸断され、全面通行止により上高地へ訪れた約800人の観光客が足止め状態となった。同年9月、事業地斜面末端の崩壊地が複数回にわたって崩落し、崩壊範囲を大きく拡大するとともに上部に開口亀裂が発生した。直下の梓川沿いに国道158号線が通過していることから監視機器設置による監視体制を整備するとともに地質調査等を行ったところ、地すべりであることが判明した。</p> <p>今後の融雪や集中豪雨により地すべりが活発化した場合、直下の梓川及び国道が移動土塊により閉塞するとともに土石流の発生により下流域への被害が懸念されることから、県や地元松本市から強くその対策を要望されている。</p> <p>このため、地すべり防止対策の実施により、地すべり活動の沈静化を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的とし本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 集水井工 10基 水路工727m 山腹工 4.37ha 主な保全対象 国道1,380m 林道830m 橋梁5箇所 送電線(鉄塔) 3基 電力施設1.0箇所 温泉施設1.0箇所 トンネル545m 総事業費 1,994,000 千円</p>		
費用対効果分析	総便益(B)	2,816,390 千円	
	総費用(C)	1,610,394 千円	
	分析結果(B/C)	1.75	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められること、地元の強い要望もあることから、本事業を実施することが妥当と判断される。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 現在も地すべりが進行しており、放置すると今後の融雪、集中豪雨等の際に地すべり活動が活発化し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、対策工の施工により下流域の保全を図るため実施するものであり事業の必要性は認められる。 ・効率性 対策工の計画に当たっては、現地状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、費用対効果分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・有効性 本事業を実施することにより、地すべり活動が沈静化し、下流域の保全が図られることから事業の有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止
施行箇所：坂巻

都道府県名：長野
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
環境保全便益	炭素固定便益	6,519	
災害防止便益	山地災害防止便益	2,809,871	
総 便 益 (B)		2,816,390	
総 費 用 (C)		1,610,394	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,816,390}{1,610,394} = 1.75$		

事前評価個表

事業名	国有林直轄治山事業 (地すべり防止)	事業実施計画期間	平成25年～平成34年度(10年間)
事業実施地区名 (都道府県名)	じぞうとうげ 地蔵峠 (長野県)	事業実施主体	中部森林管理局 伊那谷総合治山事業所
事業の概要・目的	<p>当地区は、長野県南部の伊那山脈と赤石山脈に挟まれた茶臼山山塊の西側斜面に位置している。</p> <p>地質的には中央構造線の真上に位置しているため、亀裂の多い脆弱な地質構造を構成しており、中央構造線を中心に西側には領家帯変成岩類が、東側には三波川帯変成岩類が分布している。</p> <p>当地区は、平成13年8月下旬に台風災害により被災した後、平成15年度まで治山対策が実施された。しかし、平成17年の融雪期に地すべりが発生し、道路が15cm沈下する等市の道路施設に被害を及ぼした。その後も、平成22年7月下旬の梅雨前線集中豪雨によりふたたび地すべりが活動し道路施設等に被害を与えた。</p> <p>市道上村4号線は大鹿村と飯田市上村地区を結ぶ唯一の道路であり、国道152号線の代替え道路として広く利用されている。そのため、地元から強くその対策を要望されている。今後の融雪や集中豪雨等により地すべり被害が拡大し、流出した土砂が上村川を閉塞させる恐れがある。</p> <p>このため、地すべり防止対策の実施により、地すべり活動の沈静化を図り、下流域の保全及び保安林機能の増進を図ることを目的とし本事業を実施するものである。</p> <p>主な事業内容 集水井工31基 地上集水ボーリング3群 水路工700m 主な保全対象 市道 350m 総事業費 1,600,000 千円</p>		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,690,706	千円
	総 費 用 (C)	1,297,375	千円
	分析結果 (B / C)	1.30	
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められること、地元の強い要望もあることから、本事業を実施することが妥当と判断される。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 現在も地すべりが進行しており、放置すると今後の融雪、集中豪雨等の際に地すべり活動が活発化し、下流域に被害を与える恐れが高い。このため、対策工の施工により下流域の保全を図るものであり、事業の必要性が十分認められる。 ・ 効率性 対策工の計画に当たっては、現地状況に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で計画されており、費用対効果分析結果からも十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業を実施することにより、地すべり活動が沈静化し、下流域の保全が図られることから、事業の有効性が認められる。 		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：地すべり防止
施行箇所：地蔵峠

都道府県名：長野
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,446,210	
	土砂崩壊防止便益	240,276	
環境保全便益	炭素固定便益	4,220	
総 便 益 (B)		1,690,706	
総 費 用 (C)		1,297,375	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{1,690,706}{1,297,375} = 1.30$		